

2022.6.3 理事会議案

2022.6.24 評議員会議案

2021(令和 3)年度

事業報告書

(案)

社会福祉法人 恵仁福祉協会

高齢者総合福祉施設 アザレアンさなだ

目 次

○ 運営理念	(1)
○ スローガン	(2)
○ 行動規範	(3)
2021年度事業報告 総括	1
2021年度社会福祉法人指導監査資料	2
資産(土地建物)の状況	3
定款変更の状況他	4
事業部 総括	5
施設事業課 総括	7
特別養護老人ホームアザレアンさなだ	8
横尾サテライト	11
大畑サテライト	14
施設事業課 実績	17
栄養管理	18
配食サービス 集計	19
デイサービスセンターアザレアン 総括	21
デイサービスセンターアザレアン 年間実績	23
デイサービスセンターアザレアン 月別実績	24
訪問入浴サービスアザレアン 総括	25
訪問入浴サービスアザレアン 実績	27
日常生活支援総合事業アザレアン 総括	28
日常生活支援総合事業アザレアン 実績	30
訪問介護事業課 総括	31
訪問介護事業課 実績①	33
訪問介護事業課 実績②	34
訪問介護事業課 実績③	35
定期巡回随時対応型訪問介護看護	36
24時間対応型ホームヘルプステーションアザレン	37
サービス付き高齢者向け住宅アザレアン 総括	38
サービス付き高齢者向け住宅アザレアン 実績①	40
サービス付き高齢者向け住宅アザレアン 実績②	41
小規模多機能型事業課 総括	42
小規模多機能型事業課 実績	44
認知症対応型事業課 総括	45
萩の家 実績	48
菅平グループホーム共用型 実績	49
萩・曲尾グループホーム 実績	50
下原グループホーム① 実績	51
下原グループホーム② 実績	52

真田グループホーム 実績	53
菅平グループホーム 実績	54
グループホーム 実績	55
地域連携部 総括	56
居宅介護支援センターアザレアン 総括	57
居宅介護支援センターアザレアン 実績①	59
居宅介護支援センターアザレアン 実績②	60
居宅介護支援センターアザレアン 実績③	61
訪問看護ステーション真田 総括	63
訪問看護ステーション真田 実績	65
業務部 総括	66
ナーサリーさなだ 総括	75
ナーサリーさなだ 実績	76
年度別職員状況報告書	78

事業報告 総括の項目

- ① 事業内容
- ② 2021 年度事業計画に対する達成率
- ③ 達成できた事項
- ④ 未達成の事項
- ⑤ 改善すべき事項
- ⑥ 目標とする事項(2022 年度事業計画へ)

運営理念 「人として 幸せに 安心して 生きる日々を 大切に」

理念とは、理想的な介護、客観的な知識、事実に裏打ちされた理論、そして、恵仁福祉協会のすべての役職員の信念（思い）が統合されたものです。

そのため、理念は、具体的な実践ができる理論的な裏づけがなければ意味を持たちません。さらに、仕事に従事する者は、これらの理念を熟知し、日常の業務活動に反映させることが大切です。理念を前提に、事業所や職場に適応し成長し改善する姿勢が重要です。

恵仁福祉協会の理念は、平成11年度に「アザレアンさなだの本質」を繰り返し展開した結果、生まれた13の要件をまとめたものです。その要件とは、

(1)生活の継続

住み慣れた地域やバックグラウンドにこだわり、住み替えやサービス利用でその人らしさが失われないようにします

(2)サービスタイミングと量の確保

適時、適量のサービス提供で、生活上のリスクを最小限にとどめる予防を進めます

(3)人づくり

理念を知り、その実現のために実践する人づくりを行います

(4)地域の信頼

地域の期待に応え、地域の信頼を得るようにします

(5)個別性

一人の人として認める「まなざし」を持ちます

(6)見守り

手をかけず、目を離さず常に見守る姿勢、態度を意識します

(7)仲間

地域で暮らす仲間、活動を共にする仲間、同じ思いを持つ仲間を大切にします

(8)自由の選択

自由は放任ではない事を理解します

(9)権利の尊重

人として尊重されるべき「権利」、その人が本来持つ「力」の存在を引き出す援助を心がけます

(10)サービスの選択

課題が明確にされ、何をどうしたいのかという葛藤に焦点を当て、「選択」に意味を持つ事を理解します

(11)サービスの質と量の確保

生活支援は包括的なサービス提供が前提です。そのためにはサービスの種類、質、量の確保は絶対条件です。したがって、「この程度でいい」は「その程度の暮らし」でしかないということを意識します

(12)本人の意思の尊重

「こうありたい」という意志がどのような場面、状態にあっても、あることを信じることから始まります

(13)人間理解

生活支援はその人を「知る」ことから始まります

1. 「「理念」と「組織」と「人づくり」を一体に」

恵仁福祉協会が掲げる理念は、高齢者支援の本質を述べるものであり、我々が悩み、困惑したときに立ち返ることの出来るものです。その理念を具現化することが、組織の役割・使命となりますが、そのため「組織」をどのような体制に組み立てて運営していくのかということが重要になります。そして「組織は人なり」と言われるように、「人づくり」が組織力の要になると考えます。

つまり、理念を共有し、理念の具現化に向けたモチベーションの高い人をどれだけ育成するかが組織の生命線になります。

法人では、職員一人一人のやるべき事が、事業計画、職務分掌、職能要件により示され、法人から職員への期待と、目標に向けた達成度を確認しながら個々が成長する仕組みがあります。これは、職員一人一人の作業が、より質の高い恵仁福祉協会を作りあげていくためには必要であることを意味します。

2. 「ご利用者様本位で解りやすく、利用しやすく、迅速に、親切丁寧に」

高齢者福祉の課題は介護に特化されるものではなく、様々なニーズによって成り立っています。

社会福祉によって救済される必要のある事案と、自立支援のための社会サービスの利用が未だに混同し、「福祉サービス」として曖昧に取り扱われています。そこで、福祉サービス提供者として「説明責任」をもって提供し、曖昧な中でサービス提供が行われないように注意を図る必要があります。

特に社会福祉によって救済される必要のある事案には、市町村からの援助が適切に受けられる様に、当事者の立場に立って情報提供や制度活用、権利擁護や代弁等を行い、生活支援、介護支援、医療支援、経済支援等を包括的に提供していきたいと考えます。

3. 「NO」と言わず、まず「YES」から始める

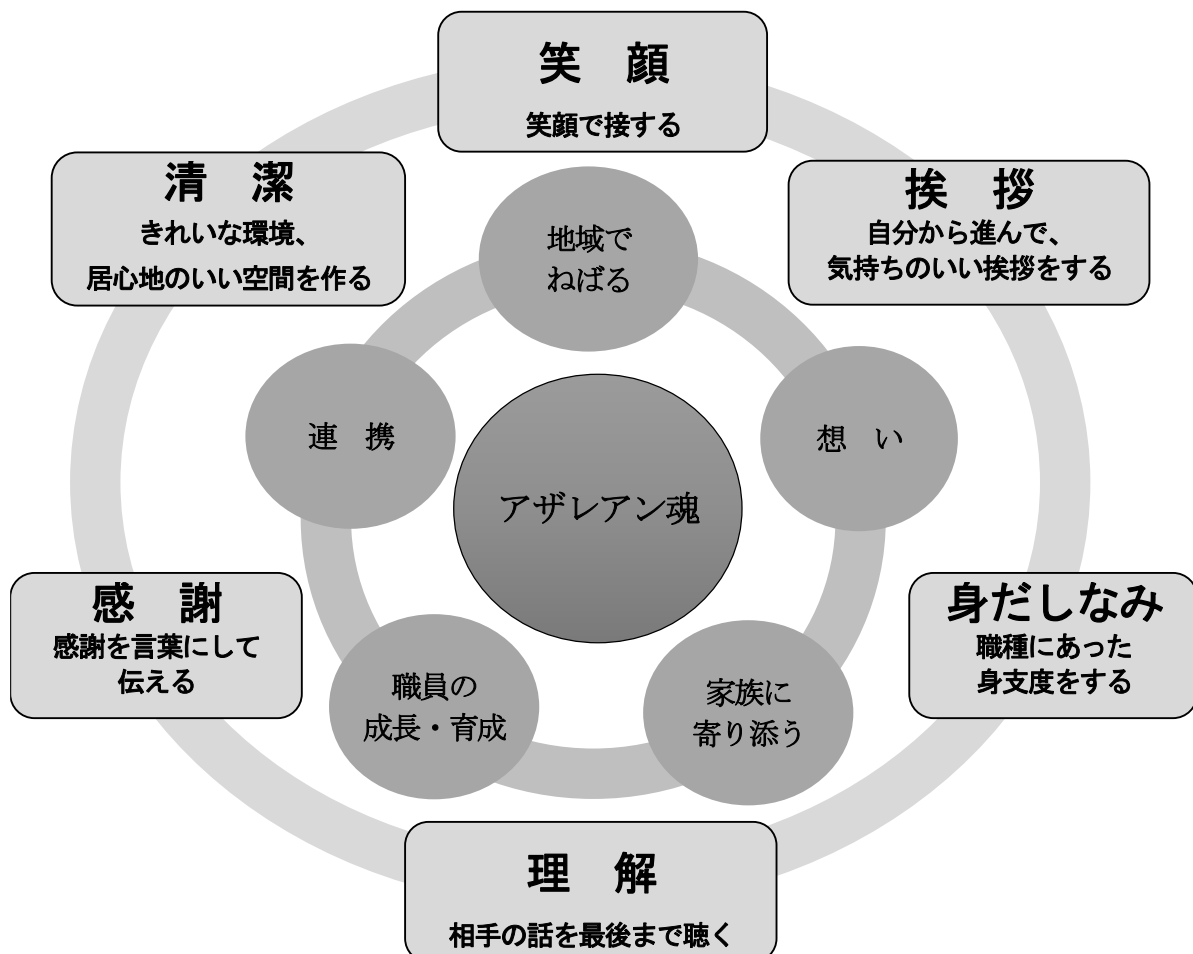
社会福祉法人の使命は、我々の都合でサービスを創り、提供することではなく、ご利用者様の気付くことができない「あるべき姿」の提案から出発していかなければなりません。

もし、法人の方針や体力が未成熟で、個々の要求に対して「NO」と言えば、法人、施設、ご利用者様、地域社会の成長も望めません。

「していないこと」ことを「出来ていない」には決してしないこと、まずは「YES」から始めること、考え工夫することを地域への約束とします。

- ・笑 顔 笑顔で接する
- ・挨 拶 自分から進んで、気持ちのいい挨拶をする
- ・身だしなみ 職種にあった身支度をする
- ・理 解 相手の話を最後まで聴く
- ・感 謝 感謝を言葉にして伝える
- ・清 潔 綺麗な環境、居心地のいい空間を作る

《アザレアン魂を体現する6つの実践》



2021年度社会福祉法人指導監査資料

1 社会福祉法人の概要

(2022年4月1日現在)

法 人 名	恵仁福祉協会	代表者氏名	小林 彰
認可年月日	平成 5年 3月 31日	設立登記年月日	平成4年 4月 13日
主たる事務所の所在地	長野県上田市真田町長7141番地1 (電話) 0268-72-2781 (FAX) 0268-72-4702		

2 社会福祉法人の行う事業

(1) 第1種社会福祉事業

施設の種類の	名 称	事業開始 年 月 日			施設長名	定員	職員数	
							専任	兼任
介護老人福祉施設	アザレアンさなだ	5	4	1	永井悦子	30	25	13
介護老人福祉施設	〃 サテライト型居住施設	17	12	1	永井悦子	10	7	0
介護老人福祉施設	〃 横尾サテライト	26	4	1	永井悦子	10	9	1

(2) 第2種社会福祉事業

施設の種類の	名 称	事業開始 年 月 日			施設長名 (管理者)	定員	職員数	
							専任	兼任
短期入所生活介護	アザレアンさなだ	5	4	1	永井悦子	18	(25)	(13)
通所介護	デイサービスセンターアザレアン	5	4	1	永井琢郎	40	8	15
〃(認知症対応型通所介護)	萩の家	24	6	1	酒井知子	12	2	8
認知症対応型 共同生活介護	萩・曲尾グループホーム	10	10	1	西藤一成	6	4	3
	(新築移転)	24	5	1				
〃	下原グループホーム	12	3	1	田中広一	12	7	10
	(新築移転)	24	5	1				
	(増築)	26	4	1				
〃	真田グループホーム	13	11	1	五十嵐由美子	6	4	5
	(新築移転)	24	5	1				
〃	菅平グループホーム	20	5	1	縵澤智子	6	5	3
(認知症対応型通所介護)	菅平グループホーム	28	4	1	縵澤智子	3		
訪問介護	ホームヘルプステーションアザレアン	12	4	1	尾澤美恵		8	15
〃	24時間型 ホームヘルプステーションアザレアン	23	11	1	唐澤聖子		1	(15)
〃	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	28	11	1	唐澤聖子		1	(15)
小規模多機能型居宅介護	大畑の家	17	12	1	甲田浩美	登録24	7	2
〃	新田の家	26	4	1	兼宗佐織	登録18	5	6

(3) 公益事業

事業名	事業内容	事業開始 年 月 日			職員数	
					専任	兼任
訪問看護	訪問看護、居宅療養管理指導	10	3	1	4	1
訪問入浴	訪問入浴	12	4	1	1	7
居宅介護支援	居宅介護支援、ケアプラン作成等	12	4	1	9	0
配食サービス	弁当(1日3食)の宅配サービス	12	4	1	2	3
宅老所宿泊	宅老所緊急宿泊	15	10	1	2	6
有償日常生活支援サービス	介護保険サービス外 訪問介護	27	11	1	(8)	(15)
サービス付き高齢者向け住宅 アザレアン	サービス付き高齢者向け住宅	28	10	1	1	4
総合事業	介護予防・日常生活支援総合事業	29	9	1	1	3
ナーサリーさなだ	企業所内保育所事業	30	12	1	3	1

資産(土地・建物)の状況

(2022.3.31現在)

科目	所在地	地目又は 構造	面積		用途	担保提供の状況		抵当権設定 年月日
			定款	登記簿		有無	提供先	
1基本財産 1 土地	上田市真田町長 字蓮台7141-1	宅地	10,794.25		老人ホーム 敷地	有・無	長野県信用組合	H27.6.29
	上田市真田町長 字蓮台7156	宅地	1,584.05		老人ホーム 敷地	有・無	長野県信用組合	H27.6.29
	上田市真田町長 字蓮台7146-3	宅地	23.45		老人ホーム 敷地	有・無	長野県信用組合	H27.6.29
	上田市真田町長 字蓮台7150-1	宅地	46.64		老人ホーム 敷地	有・無	長野県信用組合	H27.6.29
	上田市真田町長 字蓮台7155-7	宅地	82.13		老人ホーム 敷地	有・無	長野県信用組合	H27.6.29
	上田市真田町長 字蓮台7140-2	雑種地	1,791.00		駐車場	有・無		
	上田市真田町長 字蓮台7140-3	雑種地	6.36		駐車場	有・無		
	上田市菅平高原 1260-16	宅地	2,155.00		宅幼老所 敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28 H20.7.23
	上田市菅平高原 1260-23	宅地	504.69		宅幼老所 敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28 H20.7.23
	上田市菅平高原 1260-28	宅地	206.55		宅幼老所 敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28 H20.7.23
	上田市菅平高原 1260-29	宅地	130.45		宅幼老所 敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28 H20.7.23
	上田市菅平高原 1262-15	宅地	939.00		宅幼老所 敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28 H20.7.23
	上田市菅平高原 1262-20	宅地	364.55		宅幼老所 敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28 H20.7.23
	上田市真田町本原 770-12	宅地	35.18		老人ホーム 敷地	有・無	上田信用金庫	H28.12.5
	上田市真田町本原 771-7	宅地	84.59		老人ホーム 敷地	有・無	上田信用金庫	H28.12.5
	上田市真田町本原 777-17	宅地	3.69		老人ホーム 敷地	有・無	上田信用金庫	H28.12.5
	上田市真田町本原 777-18	宅地	113		老人ホーム 敷地	有・無	上田信用金庫	H28.12.5
	上田市真田町本原 772-2	宅地	2,162		老人ホーム 敷地	有・無	上田信用金庫	H28.12.5
	上田市真田町本原 772-4	宅地	119		老人ホーム 敷地	有・無	上田信用金庫	H28.12.5
	上田市真田町本原 771-5	宅地	8		老人ホーム 敷地	有・無	上田信用金庫	H28.12.5
	上田市真田町傍陽 字中村6185-2、6190	宅地	908.5		敷地	有・無	上田信用金庫	R4.2.8
2 建物	上田市真田町長 字蓮台7141-1.7156 7150-1.7155-7.7146-3	鉄筋コンクリート造 瓦葺平屋建	家屋番号7141-1		老人ホーム	有・無	長野県信用組合	H27.6.29
	上田市真田町長 字蓮台7141-1	鉄筋コンクリート 鉄骨造重層付付 鋼板葺2階建	家屋番号7141-1-2		地域交流センター	有・無	長野県信用組合	H27.6.29
	上田市真田町長 字蓮台7141-1	鉄骨造 合金メッキ鋼板 ぶき平屋建	家屋番号7141-1		別荘	有・無	長野県信用組合	H27.6.29
	上田市菅平高原 1260-28.-29.-16	木造重層メッキ 板葺平屋建	家屋番号1260-28		養護所	有・無	上田信用金庫	H17.4.28 H20.7.23
	上田市菅平高原 1260-28.-29.-16	木造重層メッキ 鋼板葺2階建	家屋番号1260-28		養護所	有・無	上田信用金庫	H20.7.23
	上田市真田町傍陽 字中村6185-2、6190	木造合金メッキ 鋼板葺平屋建	家屋番号6185-2		グループホーム	有・無	上田信用金庫	H24.3.29
	上田市真田町本原 字大腐ヶ668-1	木造かわら葺 平屋建	家屋番号668-1		グループホーム	有・無	上田信用金庫	H24.3.29
	上田市真田町長字 甲石4201-2、4205-4、4203-2	木造かわら葺 平屋建	家屋番号4205-2		グループホーム	有・無	上田信用金庫	H24.3.29
	上田市上田字秋葉裏 2545番5	木造合金メッキ 平屋建	家屋番号2545番5		養護所	有・無	八十二銀行	
	上田市真田町本原 772番2	木造合金メッキ 平屋建	家屋番号772番2		養護所	有・無	上田信用金庫	H28.12.5

II その他の 固定資産 (運用財産)	上田市菅平高原 1223-1900	山林	1,662.00		宅幼老所 敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28
1 土地	上田市菅平高原 1223-6012	宅地	619.96		宅幼老所 敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28
	上田市菅平高原 1223-6014	宅地	187.95		宅幼老所 敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28
	上田市菅平高原 1223-6015	畑	259.00		宅幼老所 敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28
	上田市菅平高原 1223-6823	山林	104.00		宅幼老所 敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28
	上田市菅平高原 1260-17	宅地	281.93		宅幼老所 敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28
	上田市菅平高原 1260-22	宅地	1,100.64		宅幼老所 敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28
	上田市菅平高原 1262-18	宅地	117.94		宅幼老所 敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28
2 建物	上田市菅平高原 1223-6012、1223-6014 1260-17	軽量鉄骨造 重層付付鋼瓦葺 平屋建	家屋番号1223-6012		作業所	有・無		
	上田市真田町長 字重附 7329-4、7329-11	軽量鉄骨造 重層付付鋼瓦葺 2階建	1階 2階	340.2 340.2		有・無	上田信用金庫	H29.2.9

3 定款変更の状況

(2022.3.31現在)

区 分		定款変更の要否	手続状況
事 業 内 容		有 ・ 無	2022.2.14付定款変更手続き 萩の家、萩曲尾グープホーム敷 地取得 基本財産へ
事務所の所在地		有 ・ 無	
役 員 定 数		有 ・ 無	
資 産	基本財産の増加	有 ・ 無	萩の家、萩曲尾グープホーム敷 地取得
	基本財産の減少	有 ・ 無	
条 文 整 備		有 ・ 無	
そ の 他		有 ・ 無	

4 変更登記の状況

区 分	変更登記年月日
目的・事業	年 月 日
	年 月 日
名 称	年 月 日
事務所所在地	年 月 日
代表者氏名等	02年 6月 1日
資産の総額	01年 8月 9日

5 監事の監査状況(平成2年4月～令和3年3月)

(1) 監事監査の実施状況

監査年月日	実施監事名	監査の内容及び指示・指導事項	改善状況又は今後の改善計画
令和3年5月24日	中島 康貴 山崎 寿雄	適正かつ正確に処理されている。	(改善 年 月 日)

(2) 監査報告(令和2年度決算分)

評議員会報告 令和 3 年 6 月 25 日

理事会報告 令和 3 年 6 月 4 日

所轄庁(知事)への報告

6 財務諸表及び事業報告書の開示方法

開示の有無	開 示 の 方 法 (今 後 の 予 定)
有	WAMNETに決算内容を報告し、その内容をインターネットで閲覧できるようにする。 ホームページで開示

7 役員等の状況

(1) 定数・現員等

区 分	定数	現員	欠員	欠員が生じた年月日	補充の予定
顧 問				・ ・	無し
理 事	7	7	0	・ ・	無し
監 事	2	2	0	・ ・	無し
評議員	9	9	0	・ ・	無し

① 事業内容

施設内・在宅において多様化するニーズ（健康状態・嗜好）に合った食事サービスの提供に努めました。給食会議での提案等やご利用者様の食事の意見・要望を反映し、より楽しみのある食事時間を過ごせるよう工夫を行い、職員の知識・経験を活かし新しい献立を積極的に取り入れることが出来ました。また、そうすることが職員の励みにも繋がりました。

② 2021 年度事業計画に対する達成率 ③達成できた事項

重度化による多様化した食支援・住み慣れた地域での生活が出来る在宅の食支援において日々の業務内でのミーティングや連絡ノートの活用で情報共有や改善点を周知したことから、他事業所との連携・情報共有を図ることが概ね出来ました。また安否確認での様子から日々の状況変化をケアマネに繋げ、ご利用者様のニーズに応えるサービス提供に繋げる一歩になりました。配食ご利用者様宅訪問で、環境・状況把握することで、より身近に感じることが出来、関係者との情報共有がスムーズに行うことが出来ました。

ニーズに合った食支援をすることで食形態の細分化による、時間外労働が増えていましたが、質を落とすことなく作業・分担の見直しを行い時間内労働により近付ける様努めました。

安心・安全な食事提供と日々の健康管理・感染症対策に努めることが出来ました。

④ 未達成の事項

緊急時及び災害時の対応として法人の常温備蓄食材以外に冷凍食材の備蓄品の選定と期間を決め確保していきます。

⑤ 改善すべき事項

作業の分担・手順等、時間内労働での業務になるよう見直しを継続していきます。

⑥ 目標とする事項（2022 年度事業計画）

1. 安心・安全な食事の提供を継続的に出来る事、日々の健康管理・感染防止対策に努めます。
2. 職員全員で楽しんで挑戦出来る姿勢を目指し、ご利用者様にとって印象に残る食事提供の取り組みをします。
3. 配食サービスによる在宅支援を継続します。

今後もご利用者様に寄り添った食事提供サービスが出来るようにと思っております。

① 事業内容

事業所の目標として『稼働率95%維持→居宅サービス事業所として、ご利用者様・ご家族様の在宅生活の支援を行います』『緊急時やレスパイトでのサービス利用時のアセスメントを実施、在宅生活継続が可能な状況に近づける様にケアを行います』と設定した。

目標を達成する為の主な取り組みとして以下の活動を行った。

- ・新規ご利用者の獲得の為に居宅支援事業所に空き情報を伝えた。
- ・セラピストによる定期的なアクティビティ活動の継続
- ・居宅支援事業所への、ご利用者様ごとの報告書の提出。

② 2021 年度事業計画に対する達成率

- ・職員同士のコミュニケーションがスムーズに出来る環境を作ります・・・60%
- ・定期的なセラピストによるアクティビティ活動・・・・・・・・・・100%
- ・居宅支援事業所への報告書の提出・・・・・・・・・・70%
- ・迅速な対応が取れる様に感染症の情報収集及びサービスの検討・・・・・・・・60%

③ 達成できた事項

定期的なセラピストによるアクティビティ活動として、集団体操を週に2回程度行えた。体操自体を楽しみにしているご利用者もあり、職員と無理のない範囲で楽しみながら運動が行えた。また、季節ごとに壁に飾る作品や塗り絵といった制作活動ができるよう物品の充実を図り、取り組みやすくする事ができた。

④ 未達成の事項

ご利用者のサービス利用中の姿を、ご家族に知ってもらう為に、写真を撮ってプレゼントする事を計画していたが、ほとんど実施には至らなかった。

⑤ 改善すべき事項

2021年度の目標に対する取り組みとして挙げた3つの柱に関して、職員とのコミュニケーションに関しても面接という形では行えていなかったり、熱発されてしまった方のサービス利用の判断が曖昧であったりと、どれも中途半端になってしまったと感じている。取り組みを実行に移し、より良いサービスの提供をする事に繋げていきたい。

⑥ 目標とする事項(2022 年度事業計画)

『ご利用者様に対して職員全員が最善のケアを同じように行えるように検討・周知する場をより多く持つようにします』

① 事業内容

2021 年度の事業目標として、「ご利用者様住み慣れた地域で生活していくために多職種による健康状態の観察や身体機能の維持・向上を目指します。」という目標を設定しました。

目標を達成するために、2021 年度 3 つの柱の「理念に基づいた組織の一体化にむけて」「経営の安定化、健全化に向けて」「感染症及び再ギアへの対応力強化に向けて」を中心に考え事業を行ってきました。その中でも下記の 3 点を重点的に取り組みました。

- ・多職種連携を行い在宅生活が維持できるようにします。
- ・生きがいや楽しみ作りのためのアクティビティを実施します。
- ・感染対策を徹底します。

新型コロナウイルスの影響で完全には稼働率が戻っていませんが、活気のあるデイサービスになるように努めています。

② 2021 年度事業計画に対する達成率

- ・多職種連携を行い在宅生活が維持できるようにします。 80%
- ・生きがいや楽しみ作りのためのアクティビティを実施します。 60%
- ・感染対策を徹底します。 70%
- ・風通しの良い職場にするため定期的な職員面接を行います。 20%

③ 達成できた事項

事業所内における多職種連携は円滑に行う事ができたと思います。ご利用者様や、ご家族様、関連事業所の情報から必要なケアを検討し、機能訓練指導員や看護職員、生活相談員、介護職員で連携しケアを行う事で、認知症状が強いご利用者様や中重度のご利用者様を受け入れる事ができました。課題であった午前中のご利用者様の過ごし方に関しても、将棋等の個別のニーズに合わせた活動を取り入れたり、作品の作成等の手作業を行う機会が増えました。

感染対策ではデイサービス関係者で新型コロナウイルス陽性者が確認され、事業所が休業しなければならぬ状況となりました。その際にも全職員で協力し、感染を広めずに最短の休業日数で事業を再開する事ができました。これは日頃から職員が感染対策を徹底している事が結果として表れたと思っています。

④ 未達成の事項

風通しの良い職場作りのための面接が少数の職員としかできなかったことは課題だと感じています。相談希望のあった職員とは面接の機会を作る事ができましたが、それ以外の職員と面接ができなかったことは課題であり、目標が未達成だったと感じています。

感染対策に関して達成できた事項がある反面、保健所から感染対策についてご指摘いただいた事がありました。手指消毒のアルコール使用についてと、換気時間についての指摘でし

た。ご指摘を受けてすぐに改善しましたが、感染対策について不十分な事もあったと感じています。

⑤ 改善すべき事項

ご利用者様の登録者数を増やす事が一番必要だと感じています。そのためにサービスの質の向上を行っていく必要があると感じています。まずはアクティビティの充実を行っていきたいと思います。今まで行えなかった年間行事を行い、ご利用者様が楽しめる企画を企画していきたいと思います。

事業所の環境整備も行っていきたいと思います。施設が老朽化してきている中でも、ご利用者様に少しでも居心地の良い空間にしていきたいと感じています。

⑥ 目標とする事項(2022 年度事業計画)

ご利用者様が住み慣れた地域で生活していくために、多職種による健康状態の観察や 身体機能の維持・向上を目指します。

① 事業内容

2021 年度の事業目標として、「ご利用者様が運動や社会交流により、サルコペニアやフレイルを予防し身体機能の維持・向上や在宅で生活している際の生活課題が解消できるように専門職の評価や運動プログラムを実施します。」という目標を設定しました。

目標を達成するために、2021 年度 3 つの柱の「理念に基づいた組織の一体化にむけて」「経営の安定化、健全化に向けて」「感染症及び再ギアへの対応力強化に向けて」を中心に考え事業を行ってきました。その中でも下記の 3 点を重点的に取り組みました。

- ・在宅生活を継続できるよう日頃の運動プログラムの実施。
- ・専門職による身体機能の評価やヘルスリテラシーの向上を行う。
- ・感染対策を徹底します。

介護予防事業として、社会交流の場や心身機能の維持向上に努めています。

② 2021 年度事業計画に対する達成率

- ・在宅生活を継続できるよう日頃の運動プログラムの実施。 80%
- ・専門職による身体機能の評価やヘルスリテラシーの向上を行う。 60%
- ・感染対策を徹底します。 60%

③ 達成できた事項

在宅生活が維持できるような運動プログラムは実施できたと感じています。各単位月 1 回にはなりますが、必ず理学療法士を配属しサービスを実施する事ができました。専門職が配置されることによって、個別に合った運動プログラムの提案ができるようになっていきます。また社会交流の場としても多くのご利用者様が総合事業に来所された事で、今までのコミュニティに加え、新しいコミュニティが構築されていると感じます。

④ 未達成の事項

サービスの質の向上を行った事で年間平均登録者数に関しては目標値を達成しましたが、年間平均稼働率に関しては、目標値に 1.4%届かなかったです。届かなかった要因としては、年間を通して利用控えをされるご利用者様がいた事や、体調不良で休まれるご利用者様がいた事が要因だったと感じています。

⑤ 改善すべき事項

総合事業は介護予防事業であり、地域住民の皆様が介護保険サービスを利用し始める最初の間口だと感じております。そういった中でアザレアンさなだを選んでいただけるように、他事業所との差別化が課題となっています。また元気な高齢者の皆様にご利用いただくため、口コミから新規ご利用者様がサービスに繋がってくるケースが多いと感じています。日々ご利用者様に満足いただけるようにサービスの質を向上していきたいと思っております。

⑥ 目標とする事項(2021 年度事業計画)

ご利用者様の方々が運動や社会交流により、サルコペニアやフレイルを予防し身体機能の維持・向上や在宅で生活している際の生活課題が解消できるように専門職の評価や運動プログラムを実施します。

① 事業内容

2021 年度、サ高住アザレアンでは稼働率 100%を目標に掲げ事業運営してきました。

実績は 94.7%で空室期間が 446 日間ありました。

2021 年度 入居者:3 名（病院から 2 名、自宅から 1 名）

退居者 3 名（特養へ 1 名、入院退居 2 名）

2021 年度 3 月末時点：平均年齢 85 歳 平均介護度 1.0 平均在所期間 33 ヶ月

法人の運営理念、スローガンを定着するためにご利用者のプライバシーを保ち、自己決定の尊重、尊厳に配慮したサービスを提供してきました。感染対策として基本的は感染予防に努め 1 日 2 回の検温と体調確認を行ない、ご利用者の健康状態の把握を行なっています。

② 2021 年度事業計画に対する達成率

利用率 100%の目標に対して達成率 94.7%

- 1.運営理念、スローガンを定着するために・・・80%
- 2.理念に基づいた組織の一体化に向けて・・・90%
- 3.経営の安定化、健全化に向けて・・・80%
- 4.感染症及び災害への対応力強化に向けて・・・100%

③ 達成できた事項

- ・ご利用者の自己決定を尊重し、お一人お一人の生活スタイルに合わせた支援を行ないました。
- ・行動規範を実践し働きやすい職場環境作りに取り組みました。
- ・ご利用者のニーズに合わせたサービスの提案を行ないました。
- ・感染予防に努めご利用者と職員の体調管理を行ないました。

④ 未達成の事項

- ・ 感染症対策でご家族様や地域との交流の場を提供することができませんでした。
- ・ 長期間の空室があり稼働率 100%は達成できませんでした。

⑤ 改善すべき事項

- ・ 感染症対策を行ないながらご家族様、地域との交流の仕方を工夫する。
- ・ 空室期間を無くすための取り組みを強化する。

⑥ 目標とする事項（2022 年度事業計画）

1. 法人の運営理念・スローガンの定着と行動規範を実践し働きやすい職場環境を作ります。
2. 30 周年に向け、法人内の他事業所との協働・連携を深め、組織の一体化を図ります。
3. ご利用者がご家族様や地域との関わりを持ち、楽しく過ごせる機会を提供します。

4. 稼働率 100%を達成するため空室情報はスピード感を持って発信していきます。

① 事業内容

1. 訪問介護・障がい福祉サービス

訪問介護・障がい福祉サービス共に新規利用者確保を目標に掲げ事業運営を行いました。訪問介護では1日平均25件の目標に対し、2021年度の実績は1日平均21件と目標にはわずかに届きませんでした。1日平均25件の目標に対する達成率は84%でした。

障がい福祉サービスでは事業を開始し1年が経過。体制を確保しながら利用者が6名となりました。長期入院や、引越し等でサービス中止などもありましたが安定した年でした。

2. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護

夜間対応型訪問介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護共に新規利用者確保目標を定め事業運営を行いました。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護では月平均8名の利用者を目指した実績は76%（月平均6名）でした。

夜間対応型訪問介護については新規利用者が0、継続利用者についてはサービス利用実態が無く、令和4年3月末日でサービス提供を終了。

法人の運営理念・スローガンを定着するために、ご利用者様に合わせご本人の意向に沿うようなケアを行い、ご本人は勿論ご家族様とも連絡を密にし信頼関係を築いて来ました。また、関係機関との情報共有にも力を入れてきました。

② 2021 年度事業計画に対する達成率

1. 訪問介護・障がい福祉サービス

- ・訪問介護 目標1日平均25件に対する達成率84%
- ・障がい福祉サービス目標月平均20件に対する達成率100%

2. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護

- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護 目標月平均8名以上に対する達成率76%
- ・夜間対応型 目標月平均5名以上に対する達成率20%

3. 訪問介護全体としての達成率

- (1)運営理念・スローガンの定着…80%
- (2)理念に基づいた組織の一体化…90%
- (3)経営の安定化・健全化…70%
- (4)感染症及び災害への対応力強化…90%

③ 達成できた事項

- (1)ご利用者様やご家族様とのコミュニケーションを通じてお気持ちに寄り添うケアを提供してきました。
- (2)職員間で意見交換を行い気持ち良く働きやすい職場作りを心がけました。またリモート研修への参加をすすめました。

(3)訪問介護・障がい福祉サービスにおいてはケアマネとの連携を図り、ご利用者様のニーズに合わせたサービスを提供することができています。

定期巡回・随時対応型訪問介護においては、ご利用者様のニーズの発掘に努め、必要な方へのサービスを開始することができています。

(4)感染症対策の徹底により職員の感染はありませんでした。

④ 未達成の事項

- ・訪問介護では目標の1日平均25件が達成できませんでした。
- ・夜間対応型訪問介護では需要がみこめないためサービスを終了しました。
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護においては新規利用者の確保が目標に届きませんでした。

⑤ 改善すべき事項

- ・訪問介護では目標訪問件数1日平均25件の達成を目指します。
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護では今後ご利用者様のニーズの把握や居宅支援事業所への広報活動の取り組みを通じ新規ご利用者様の確保を目指します。

⑥ 目標とする事項（2022年度事業計画）

1. 訪問介護、目標件数1日平均25件 障がい福祉サービス、月平均訪問件数20件

2. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護、目標登録者数月平均8名

(1) 理念を基に、ご利用者様が楽しく穏やかに在宅生活を続けていただけるよう支援します。また行動規範を実践することで働きやすい職場作りをします。

(2) ご利用者様の尊厳を尊重し、自分らしく過ごしていただけるサービスを提供していくため職員間の相互理解を深める事により、より良い職場環境を作ります。

(3) 訪問の時間にご利用者様にとって心安らげる時間となると共に、訪問する職員にとっても成長のための経験になるよう、皆で協力し取り組んでいきます。

(4) このサービスがある事でそれぞれの希望に応じて最後まで在宅生活を続けていただける、という事を地域の皆様に知って頂けるよう情報発信を続けて行きます。

① 事業内容（2021 年度の総括と 2022 年度に向けて）

2021 年(令和 3 年)度は、2019 年(令和元年)度から続く法人の赤字決算を健全収益に変えることこそ至上命題であり、あらゆる面で勝負の 1 年になると考えてまいりました。安定経営の観点から 2021 年度末の 3 月 31 日を以て廃止する事業を決定し、早い段階からご利用者様、ご家族様、地域の方々にご説明と関係機関への手続きを進めてまいりました。同時に、組織運営の透明化から担当職務の整備・見える化を図るための規程を制定し、2022 年度の施行に向けて準備を進めてまいりました。

2021 年度は、新型コロナへの対策に追われた 1 年であったともいえます。職員全員の公私にわたる自覚ある行動により、事業への影響は最小限にとどめることができました。第 6 波のリバウンドが実態化されてきている昨今では、社会福祉事業が緊急事態の中でも経済や社会を支える重要なインフラであり、福祉従事者の役割が社会的に重要である存在にも関わらずその基盤は、何かあればたちまち苦境をむかえるような脆弱なものであり、社会福祉をめぐる危機感として感じ取れました。しかし、恵仁福祉協会の事業が地域に求められているサービスである限り、そこに携わる職員が誇りをもってご利用者様や地域の方々に関わり続けられるようにサポートしていきたいと思えます。

2021 年 4 月に新卒者 7 人が仲間に加わり新しい風を感じる新年度のスタートとなりました。10 月からは理事会・評議員会を書面決議や zoom で開催し、コロナ禍の法人運営を滞ることなく推進してきました。1 月から全職員および関係業者の PCR 検査を開始、ワクチンの 3 回接種の管理等、更には 10 月に誕生した新政権の介護従事者の賃金を引き上げの政策による介護職員処遇改善支援補助金制度の実施等、多角的な対策と周知と改正を繰り返す日常でもありました。このような困難に立ち向かう中で法人内の結束は強くなった様に思えます。

2022 年 4 月に当法人は設立 30 周年を迎えます。実行委員会で 3 つのチームに分かれて 30 周年記念事業を検討しています。年間を通して記念事業実施期間と定め、記念式典や事業所紹介、地域との連携、クラウドファンディングなどの事業を実施していきます。

今後も引き続き、公益性と非営利性を備えた社会福祉法人が、地域のニーズにきめ細かく対応し充

足していくこと、効率的・効果的に福祉サービスを供給していく観点から、適切な法人の在り方について議論を重ね、より透明性の高い法人運営が図れるように規程の整備、各種契約の見直し等、継続して体制の整備を進めて参ります。

② 2021 年度事業計画(重点項目)に対する達成率

- ・ 高年齢者雇用継続給付金活用の検討（100%・対象者 4 名）
- ・ 運営理念、スローガン、行動規範の職員共有遂行（100%・会議開催時の唱和実施）
- ・ 各事業所の事業運営管理の支援（70%・廃止事業所の撤退整理、感染対策、防災対策）
- ・ 施設整備計画・執行管理（80%・年度内予算計上整備の進行管理）
- ・ 各事業所のリスクマネジメントの推進（70%・火災・災害・防犯・事故対策等）

- ・内部検査体制の強化・充実（70%・法令・基準等の遵守）
- ・財務会計に係るチェック体制の強化（80%・法人監査における規程、チェックリストの運用）
- ・長期安定収入の確保・適正な資金運用（80%・補正予算プラス計上達成）
- ・実績に応じた予算作成と月次予算の厳格な執行管理（70%・人件費予測補正必要値、支出改善）

③ 達成できた事項

- ・2期連続の赤字決算から、黒字決算見込。事業の健全化へ
- ・給与制度の改正（63歳定年制、各種手当の見直し等）
- ・高年齢者雇用継続給付金、各種助成金の活用（対象4名）
 特定求職者雇用開発助成金(特定就職困難者コース1名・生涯現役コース2名)
- ・各種規程整備（組織規程、職務権限規程、職務分掌規程、稟議規程の制定）
- ・業務委託費等の費用対効果の検証と削減に向けた取組み（委託の見直し、再検討の実施）
- ・研修体制改革、全職員参加できる形式（WEB形式、録画形式の採用、復命報告書の徹底）

④ 未達成の事項

- ・職員に対する倫理教育の充実（配属後の受け入れ事業所体制の確立必要）
- ・福祉人材の確保（新卒の確保困難化、中途採用、派遣、紹介による労働力確保へ）
- ・財務会計に係るチェック体制の強化（データ共有、ソフト運用のルール化必要）

⑤ 改善すべき事項

- ・事業計画書、予算計算書に伴う業務遂行の徹底
- ・職場環境の改善意識による環境改善、業務手順の整備

⑥ 目標とする事項(2022年度事業計画)

- ・自己分析を常に行える意識を持つ
- ・組織規程、職務権限規程、職務分掌規程の定着
- ・Aipoの活用（事業執行起案、会議資料、研修資料）
- ・施設、設備の保守・改修・維持
- ・福祉人材の確保 ・長期安定収入の確保・適正な資金運用

●2021 年度(令和 3 年度) 理事会

理事会書面決議 令和 3 年 4 月 12 日(発送)

議 案 定款施行細則第 20 条(15) 評議員選任解任委員会の運営について

令和 3 年度 第 1 回理事会 令和 3 年 6 月 4 日(金曜日)

第 1 号議案 2020 年度 事業報告書(案)について

第 2 号議案 2020 年度 決算報告書(案)について

第 3 号議案 監事監査報告について

第 4 号議案 評議員任期満了に伴う新評議員選任について

第 5 号議案 理事・監事任期満了に伴う新理事・監事選任について

第 6 号議案 評議員選任解任委員任期満了に伴う委員選任について

第 7 号議案 第三者委員任期満了に伴う委員選任について

第 8 号議案 運営協議会委員の選任について

第 9 号議案 手形貸付根保証の期限延長について

第 10 号議案 令和 3 年度第 1 回(定時)評議員会の開催について

第 11 号議案 令和 3 年度評議員選任解任委員会の開催について

第 12 号議案 令和 3 年度第 2 回理事会の開催について

令和 3 年度 第 2 回理事会 令和 3 年 7 月 30 日(金曜日) 中止

令和 3 年度 第 3 回理事会 令和 3 年 10 月 22 日(金曜日) 第 1 号議案 規程の変更について

第 2 号議案 規程の制定について

第 3 号議案 寄付金の募集に関する事項について

第 4 号議案 評議員会の開催について

令和 3 年度 第 4 回理事会 令和 4 年 2 月 4 日 金曜日付 書面決議(令和 4 年 1 月 28 日 発送)

第 1 号議案(臨時議案) 萩土地の不動産売買契約、萩土地購入に係る証書借入について

第 2 号議案 定款の変更について

第 3 号議案 規程の変更について

第 4 号議案 評議員会の開催について

第 5 号議案 令和 4 年度理事会の日程について

令和 3 年度 第 5 回理事会 Zoom 開催 令和 4 年 3 月 18 日(金)

第 1 号議案 2021 年(令和 3 年)度 予算の補正について

第 2 号議案 2021 年度 事業計画書(案)について

第 3 号議案 2021 年度 予算計画書(案)について

第 4 号議案 規程の制定について (組織、職務権限、職務分掌・稟議規程)

第 5 号議案 令和 3 年度第 4 回評議員会開催について

第 6 号議案 規程の変更について 経理規程(拠点区分等)育児・介護休業等に関する規程

●2021 年度(令和 3 年度) 評議員会

令和 3 年度 第 1 回(定時)評議員会 令和 2 年 6 月 25 日(金曜日)

第 1 号議案 2020 年度 事業報告書(案)について

第 2 号議案 2020 年度 決算報告書(案)について

第 3 号議案 監事監査報告について

第 4 号議案 評議員任期満了に伴う新評議員選任について

第 5 号議案 理事・監事任期満了に伴う新理事・監事選任について

第 6 号議案 評議員選任解任委員任期満了に伴う委員選任について

第 7 号議案 第三者委員任期満了に伴う委員選任について

第 8 号議案 運営協議会委員の選任について

第 9 号議案 手形貸付根保証の期限延長について

令和 3 年度 第 2 回評議員会 令和 3 年 11 月 30 日(火曜日) 第 1 号議案 規程の変更について

第 2 号議案 規程の制定について

第 3 号議案 寄付金の募集に関する事項について

令和 3 年度 第 3 回評議員会 令和 4 年 2 月 10 日 木曜日付 書面決議
(令和 4 年 2 月 4 日発送)

萩土地の不動産売買契約、萩土地購入に係る証書借入について

議案 定款の変更について

令和 4 年度理事会・評議員会の日程について

令和 3 年度 第 4 回評議員会 Zoom 開催 令和 4 年 3 月 25 日(金)

第 1 号議案 2021 年(令和 3 年)度 予算の補正について

第 2 号議案 2021 年度 事業計画書(案)について

第 3 号議案 2021 年度 予算計画書(案)について

第 4 号議案 規程の制定について (組織、職務権限、職務分掌・稟議規程)

第 5 号議案 規程の変更について 経理規程(拠点区分等)育児・介護休業等に関する規程

●2021 年度 評議員選任解任委員会 令和 3 年 6 月 4 日 金曜日付 書面決議
評議員の選任について

令和 3 年 6 月 25 日から令和 7 年度定時評議員会終結時まで

●2021 年度 運営協議会

令和 3 年度定時評議員会終結から令和 5 年定時評議員会終結まで 文書通知

●2020 年度 第三者委員会

令和 3 年度第 1 回第三者委員会 開催中止

令和 3 年度第 2 回第三者委員会 令和 4 年 1 月 17 日(月曜日)

苦情受付書 6 件 (R3.4.6 発生・R3.4.9 発生・R3.8.23 発生・R3.10.1 発生・R3.9.2 発生・R3.12.17 発生・R3.11.7 報告事項)

【2021 年度の主な行事】

[4 月]

1 日(木) 新規採用職員辞令交付 (職員研修会 Zoom 形式)

大畑サテライト長期 12 名(短期 2 廃止)

カフェアンドギャラリーSaan 運営委託

2 日(金) 運営会議

12 日(月) 経営会議 業務部会議

20 日(火) 事業推進会議 衛生委員会

23 日(金) 運転手会議

26 日(月) 大畑土地境界確認立会

[5 月]

7 日(金) 運営会議

12 日(水) 経営会議 業務部会議

19 日(水) 職員研修会

21 日(金) 運転手会議

24 日(月) 法人監事監査

25 日(火) 事業推進会議 衛生委員会 教務部会議

[6 月]

1 日(火) 運営会議

4 日(金) 令和 3 年度第 1 回理事会

12 日(土) フードバンク・パントリー

14 日(月) 経営会議

16 日(水) 特別養護老人ホームアザレアンさなだゾーニング工事

18 日(金) 特別養護老人ホームアザレアンさなだ実地指導・運転手会議

22 日(火) 事業推進会議、衛生委員会、業務部会議

25 日(金) 令和 3 年度第 1 回(定時)評議員会

29 日(火) 職員研修会(事業報告会)

[7 月]

1 日(木) 運営会議

6 日(火) 感染症対策委員会

14 日(水) 経営会議

16 日(金) 運転手会議

20 日(火) 職員研修会(職員表彰)

26 日(月) アザレアンさなだ防災訓練(発電機操作)

28 日(水) 事業推進会議、衛生委員会、業務部会議、人材 P、職員代表者委員会
[8 月]
2 日(月) 運営会議
6 日(金) 新型コロナ警戒レベル 5(上田市)
18 日(水) 経営会議、総合事業防災訓練
20 日(金) 運転手会議
24 日(火) 法人創立 30 周年記念事業実行委員会
25 日(水) 事業推進会議、衛生委員会、業務部会議
26 日(木) 職員研修会(中止)
28 日(土) 上田市シェイクアップ訓練
[9 月]
1 日(水) 運営会議
8 日(水) 入所利用者レントゲン撮影
10 日(金) ナーサリーさなだオフサイト調査
15 日(水) 経営会議
18 日(土) 共有サーバ入替(ジェイファクトリー)
21 日(火) 法人創立 30 周年記念事業実行委員会
23 日(木) 文化講演会(web)今を生きる発達障害(小林理事長)
29 日(水) 事業推進会議・衛生委員会・業務部会議
[10 月]
1 日(金) 運営会議
12 日(火) 法人創立 30 周年記念事業実行委員会
14 日(木) ボイラー保守点検
17 日(日) 停電検査
18 日(月) 土地の境界立会(7053 番地)
20 日(水) 樹木管理
20 日(水) (株)竹工 私募債寄付 車椅子贈呈式
21 日(木) 消防設備点検
22 日(金) 受水槽外部改修(塗装)・令和 3 年度第 3 回理事会
23 日(土) ぶらさなだ
26 日(火) 創立 30 周年記念実行委員会
27 日(水) 事業推進会議・衛生委員会・業務部会議
[11 月]
1 日(月) 運営会議・職員代表者委員会(書面確認)
9 日(火) 大畑施設隣地境界立会
16 日(火) アザレアンさなだ隣地境界立会
17 日(水) 経営会議
25 日(木) 事業推進会議・衛生委員会・業務部会議
[12 月]
1 日(水) 運営会議

10 日(金) 雇用管理責任者講習会
13 日(月) 経営会議
15 日(水)・22 日(水) 夜間勤務従事者対象健康診断
21 日(火) 法人創立 30 周年記念事業実行委員会
23 日(木) 事業推進会議・衛生委員会・業務部会議
24 日(金) 運転手会議

[1 月]

4 日(火) 新年神事
5 日(水) 運営会議
12 日(水) 経営会議
24 日(月) 法人創立 30 周年記念事業実行委員会
26 日(水) 事業推進会議・衛生委員会・業務部会議

[2 月]

1 日(火) 運営会議
4 日(金) 令和 3 年度第 4 回理事会
12 日(土) よろず講演会
14 日(月) 経営会議
22 日(火) 法人創立 30 周年記念事業実行委員会
24 日(木) 事業推進会議・衛生委員会・業務部会議
28 日(月) 賃金改善開始報告書(県提出)

[3 月]

1 日(火) 運営会議
14 日(月) 経営会議
15 日(火) 旧居宅介護支援センターえん事務所賃貸契約終了引渡し
18 日(金) 令和 3 年度第 5 回理事会
22 日(火) 法人創立 30 周年記念事業実行委員会
23 日(水) 事業推進会議・衛生委員会・業務部会議
25 日(金) 令和 3 年度第 4 回評議員会・ボイラー保守点検
29 日(火) 消防設備点検
31 日(木) 受水槽清掃

南天神の家廃止に伴う賃貸借契約終了

戸沢の家廃止に伴う賃貸借契約終了

●職員全体会議・職員研修会

4月1日 「令和3年度事業計画発表」 デイフロア・各事業所でズーム開催
5月 「認知症について」 (講師 田中広一・上野和也) 各自視聴研修
6月29日 「令和2年度事業報告会」 デイフロア・各事業所でズーム開催
7月20日 「感染症予防・食中毒防止について」 (講師 片山管理栄養士)
* 永年勤続者・資格取得者表彰式 デイフロア・各事業所ズーム
開催
8月 新型コロナ感染症蔓延防止のため中止
9月 「アザレアンさなだにおける防災対策について」 (講師 田中広一・西藤一成)
各自視聴
10月 職場のメンタルヘルス「ハラスメントについて」 (講師 福澤常務理事)
各自視聴
11月 「訪問看護ステーション真田・ナーサリーさなだ活動報告」
デイフロア・各事業所ズーム開催
12月 「高齢者虐待防止・身体拘束廃止について」 (講師 栗林竜也) 各自視聴
1月・2月 「薬について」 (講師 恵仁福祉協会理事 水間雅典氏) 各自視聴
3月 リスクマネジメント 事故防止について (講師 業務部 鎌田賢治) 各自視
聴

●4 法人合同研修会 4 法人でズーム開催

7月19日(月) デイサービス相談員懇談会 12人(アザレアンから4人参加)
9月27日(月) 特養看護職員懇談会 10人(アザレアンから3人参加)
11月18日(木) 管理栄養士懇談会 8人(アザレアンから1人参加)
1月21日(金) 施設ケアマネジャー懇談会 9人(アザレアンから2人参加)
3月29日(火) ラポートあおき「新型コロナウイルス感染症」報告会 (6人参加)

●実習し絵の受け入れ

信州上田医療センター看護学生 32人 長野大学社会福祉学部学生 7人 松本大学 1人
長野女子短期大学 1人 上田染谷丘高校 1人 計 42人

●資格取得者

社会福祉士 1人 介護支援専門員 1人 介護福祉士 4人

年度別職員状況確認表

R4.4.1現在
R3.4.1現在
R2.4.1現在
H31.4.1現在

離職率=減少労働者(29)÷年初全労働者(242)×100=11.98
離職率=減少労働者(44)÷年初全労働者(251)×100=17.52
離職率=減少労働者(29)÷年初全労働者(253)×100=11.46
離職率=減少労働者(16)÷年初全労働者(256)×100=6.25

		常勤			非常勤			合計
		男	女	計	男	女	計	
R4.4.1	職員数	25	80	105	19	118	137	242
離職率	勤続年数	10.6	10.6	10.60	3.2	8.6	5.90	8.25
11.98	平均年齢	44.9	47.9	46.40	67.0	56.1	61.55	53.98
R3.4.1	職員数	32	86	118	18	115	133	251
離職率	勤続年数	9.1	10.1	9.58	2.3	8.7	5.49	7.53
17.52	平均年齢	40.9	45.8	43.35	67.2	55.2	61.20	52.28
R2.4.1	職員数	32	97	129	15	107	122	251
離職率	勤続年数	7.8	10.8	9.30	6.1	8.0	7.05	8.18
11.46	平均年齢	39.9	47.8	43.85	63.5	56.1	59.80	51.83
H31.4.1	職員数	34	102	136	15	102	117	253
	勤続年数	8.6	10.5	9.55	5.8	8.0	6.90	8.23
6.25	平均年齢	39.6	47.6	43.60	63.3	57.0	60.15	51.88
H30.4.1	職員数	36	103	139	12	105	117	256
	勤続年数	7.1	9.6	8.35	3.8	7.9	5.89	7.12
12.89	平均年齢	38.6	47.6	43.07	64.4	56.3	60.35	51.71
H29.4.1	職員数	34	103	137	11	106	117	254
	勤続年数	6.8	9.1	7.98	2.7	7.4	5.06	6.52
14.56	平均年齢	37.6	47.6	42.60	63.5	55.4	59.45	51.03
H28.4.1	職員数	31	101	132	9	109	118	250
	勤続年数	6.6	9.9	8.21	3.4	6.8	5.09	6.65
10.71	平均年齢	38.2	50.1	44.15	65.6	53.1	59.35	51.75
H27.4.1	職員数	30	110	140	10	102	112	252
	勤続年数	6.9	8.8	7.84	2.2	6.8	4.49	6.17
9.92	平均年齢	38.7	47.2	42.95	61.5	54.5	57.99	50.47
H26.4.1	職員数	29	106	135	9	103	112	247
	勤続年数	7.0	9.4	8.17	1.9	6.3	4.11	6.14
9.31	平均年齢	37.2	48.6	42.90	57.8	53.0	55.39	49.14
H25.4.1	職員数	25	113	138	5	93	98	236
	勤続年数	6.65	8.42	7.54	5.21	6.02	5.62	6.58
11.01	平均年齢	38.3	48.4	43.35	64.25	53.04	58.65	51.00
H24.4.1	職員数	26	108	134	5	101	106	240
	勤続年数	5.5	8.0	6.78	4.5	5.6	5.07	5.92
10.41	平均年齢	36.8	47.2	42.02	61.4	53.5	57.49	49.75
H23.4.1	職員数	19	99	118	5	102	107	225
	勤続年数	6.1	7.6	6.83	4.6	5.4	5.03	5.93
10.66	平均年齢	36.6	45.5	41.06	55.4	52.7	54.03	47.55

① 事業内容

- A：各事業所、部門での運営に必要な環境の整備に関する事項：（１）送迎車・運転手等
（２）施設維持：
- B：ナーサリー運営に関する事項：（１）平常開園時の業務 （２）契約等
（３）行政への連絡・手続き （４）対外的 PR：
- C：求人、職員募集に関する事項：（１）就職説明会等 （２）新卒者に対する活動：
- D：委員会活動、地域活動に関する事項：（１）防災委員会としての活動
（２）地域活動参加：

② 2021 年度事業計画に対する達成率

- A：（１）（２）共に運営ぎりぎりの状況。尾崎さんの退職、ドライバーの高齢化に伴い

人材確保は急務。総務部の分担時間も減少が必要 ※資料別紙参照

人件費は減少となっているが、一方で配食数の契約件数の減少が顕著。コロナ禍の影響も

大きい。

B：※資料別紙参照

C：新卒採用がなかった。昨年度の採用者が 2 名退職。中途採用は最多。今後も中途採用促進

への対策が重要に感じる。

D：コロナ禍において活動が制限され十分な活動が出来なかった。特に「子ども食堂」は活動

が 2 年連続で全くなし。

③ 達成できた事項

A：送迎・配食業務維持、コロナ禍における「ゾーニング助成金」活用の設備設置、上田市の

「奨学金助成」の申請と受領、デイフロアの一部 LED 化、2 事業所の撤退と 1 事業所移転の完了

B：※別紙参照

C：毎月の職場説明会実施、大学 NAVI 求人、ハローワーク求人の更新

D：アザレアンの支え合い委員会の参加

④ 未達成の事項

A：新規ドライバーの確保、ドライバー研修、年賀寄付金等における助成の新規獲得、事故の減少、

B：※別紙参照

C：新卒の採用

D：地域への貢献を理解してもらうための職員への周知徹底及び協力体制の構築

⑤ 改善すべき事項

A：営繕作業の効率化、ドライバーの質向上、ドライバーの確保、移乗等の実施研修、助成金の活用

B：※別紙参照

C：紹介制度の活用の広報、中途採用希望者への広報活動の多角化、

D：協力企業へのP R、

⑥ 目標とする事項（2022 年度事業計画）

A：営繕業務のスムーズな運行、修繕等依頼の方法の伝達、

リネン室 3 年目の設備完了、消防設備 2 年目の改善業務、光熱費高騰に対応した無駄の見直し、

各事業阻における新規見積もり等の補助等

B：※別途組織改編入にてここでは扱わず

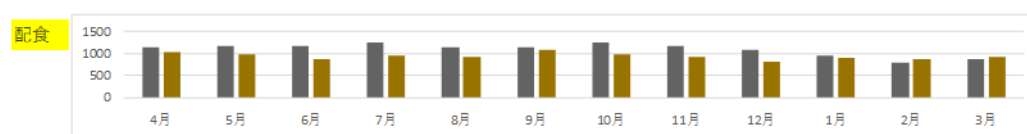
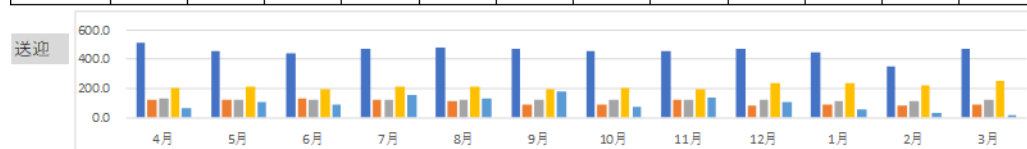
C：中途採用に関する求人方法の検討、30 周年事業に関連しての PR、

クラウドファンディングの運用に関連した P R、寄付の募集、目標の達成、防災用品の整備、

D：地域活動を通してのアザレ안의 P R、ex) にじいろカフェ、支え合い会議

2021年度 業務部 送迎・配食業務実績 3月まで、年間

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	A V
送迎（時）	デイ	516.0	459.0	441.5	476.0	483.0	469.5	459.0	452.5	474.0	452.0	352.0	476.0	5510.5	459.2
	秋の家	120.0	122.0	128.0	124.0	118.5	94.0	94.0	120.0	84.0	88.0	80.0	89.0	1261.5	105.1
	大畑の家	128.0	125.0	121.0	124.0	125.0	120.0	124.0	120.0	124.0	116.0	112.0	124.0	1463.0	121.9
	ショート	205.5	210.5	199.5	214.0	212.5	192.5	201.5	197.0	237.0	240.0	220.0	252.0	2582.0	215.2
	その他	66.0	104.5	87.0	152.5	129.5	177.0	71.0	143.5	105.0	60.0	35.0	15.0	1146.0	95.5
	小計	1035.5	1021.0	977.0	1090.5	1068.5	1053.0	949.5	1033.0	1024.0	956.0	799.0	956.0	11963.0	996.9
配食（食）	朝 食	118	120	138	137	80	94	108	100	84	70	46	34	1129	94.1
	昼 食	312	335	319	353	347	337	347	308	311	280	239	263	3751	312.6
	夕 食	709	715	715	769	721	725	786	761	701	597	520	572	8291	690.9
	小計	1139	1170	1172	1259	1148	1156	1241	1169	1096	947	805	869	13171	1097.6
	契 約	1041	973	877	952	939	1080	987	936	816	909	868	931	11309	942.4
	総配食数	2180	2143	2049	2211	2087	2236	2228	2105	1912	1856	1673	1800	24480	2040.0
職員数	15	15	15	16	15	15	15	15	14	13	12	13	173	14.4	
配食費用	369,226	384,651	422,082	440,956	413,250	403,344	407,788	446,996	434,596	376,760	367,853	384,432	4,851,934	404,328	
配食数＋配食費用	169.4	179.5	206.0	199.4	198.0	180.4	183.0	212.3	227.3	203.0	219.9	213.6	2391.8	199.3	
費用	1,147,425	1,146,025	1,180,175	1,279,150	1,213,675	1,168,200	1,128,375	1,210,275	1,223,775	1,060,975	958,850	1,109,625	13,826,525	1,152,210	



(市) 栄養課 → 栄養士 → R3 → 配食集計

(契約書) 共有 → 栄養課 → 配食按分表 → 2021食数

2021 年度 ナーサリーさなだ（企業所内保育所）業務実績

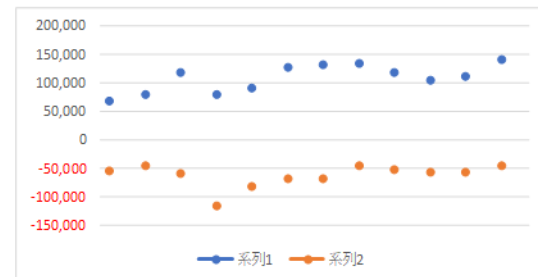
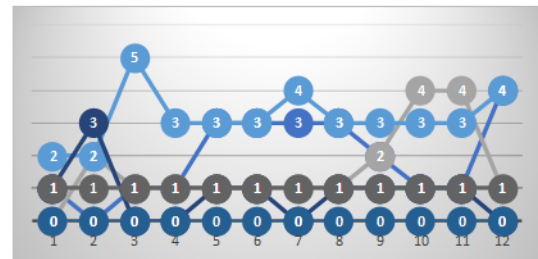
3月まで 年間集計

【登園者所属分類】

単位 人

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
アザレアン	通常	本年度	1	0	1	1	3	3	3	3	2	1	1	4	23
		対前年	±0	-1	-2	-2	±0	-2	-1	-2	-3	-3	-1	±0	-17
	一時	本年度	0	2	1	1	1	1	1	1	2	4	4	1	19
		対前年	-5	±0	-1	±0	-4	-2	-2	±0	+1	2	±0	-1	-9
かりがね	通常	本年度	2	2	5	3	3	3	4	3	3	3	3	4	38
		対前年	-1	+1	+3	+2	+1	±0	+1	±0	±0	+1	+1	+2	-1
	一時	本年度	1	3	0	0	1	1	0	1	1	1	1	0	10
		対前年	-1	-1	-4	-3	-3	-1	-1	±0	±0	-1	-1	-2	-13
上田急便	通常	本年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		対前年	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	0
	一時	本年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		対前年	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	0
小計			-7	-1	-4	-3	-6	-6	-3	-2	-2	-1	-1	-2	-38
キャンセル			8	1	5	21	24	19	19	5	22	37	34	32	227
対前年増減			-44	-30	-4	-4	+10	-2	+14	±0	+11	+27	+28	+25	-76

※「通常」とは月平均16日以上の利用者。それ以下はすべて「一時」の一時保育利用者



【利用金額】

単位 円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総額
金額換算	69,500	80,200	118,000	79,600	91,100	127,400	131,600	134,100	119,500	104,200	111,200	141,400	1,307,800
対前年増減	-55,000	-43,800	-58,200	-115,700	-80,500	-66,700	-67,400	-43,800	-52,500	-56,600	-56,600	-44,900	-741,700

172,000 160,800 167,800 186,300

【助成金額】

単位 円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総額
金額換算	416,170	677,490	1,052,140	812,890	843,620	1,240,990	1,352,910	1,407,590	1,146,470	1,199,270	1,259,790	1,566,900	12,976,230
対前年増減	-749,380	-168,470	-68,060	-46,1510	-305,210	-68,860	66,040	143,190	-63,000	282,580	210,120	372,410	-348,640

1,264,400 1,209,470 916,690 1,049,670 1,194,490

-804,380 -212,270 -126,260 -115,700 -385,710 -135,560 -1,360 99,390 -115,500 225,980 153,520 327,510 **-1,090,340**

		活 動 内 容
衛生委員会	志賀・小池	毎月1回委員会を開催しています。職員の災害防止・健康状態に関する事、各事業所の設備に関する事、労働環境の改善等について議論し、安全な職場環境と労災事故防止に努めています。
モラル・研修委員会	太田・兼宗	
安全委員会 事故	鎌田・唐澤 加藤	年4回の交通安全週間に合わせ3か月に1回委員会を開催。啓発資料を活用しながら職員の事故防止を目的に、通勤時及び業務時の交通事故削減に努めています。3月の職員研修会で年間の事故の分析を行い周知しています。
防災	田中・西藤	
広報委員会	鶴見・尾澤	「真田生き生きふるさと通信」を年4回発行しました。それに合わせ委員会を開催しアザレアンさなだをより深く知っていただくため各事業所の様子や活動を掲載し、楽しく元気になるような通信を届けます。
感染症委員会	佐藤・片山	新型コロナウイルス感染の拡大状況に応じ年7回の委員会を開催しました。法人としてのルールの再確認や徹底を行うことにより、3月には感染を最小限に抑えることができました。また、食中毒防止に向けての情報の共有を行い意識を高めています。
地域支え合い委員会	小林・笹山	
リスクマネジメント委員会	山口	
身体拘束適正化委員会	栗林・高橋	定期的に委員会を開催しています。アンケート(チェックの芽リスト)や職員研修会を行い、身体拘束や虐待について考える機会を提供する事によって、職員の意識向上に努めています。

